

授業科目名		精神保健看護学臨地実習	担当教員	◎中島洋一、宮本眞巳 松丸直美
必修	開講年次：3年後期	単位：2単位	授業形態：臨地実習 90時間	

### 【授業概要】

健康な人々の精神衛生看護と、精神科的疾患を持つ人々の看護の両方を対象とする。精神疾患や精神障害を持つ人が社会に参加しながら、自分らしく生活するための支援体制の一環として、看護職が社会的責務を果たすために必要な知識と技術を修得する。精神保健看護の臨地実習を行なう。実習施設は、病院の精神科病棟、老人施設（認知症棟）、生活訓練施設などを利用する。

### 【授業目的・目標】

1. 精神の構造と機能を理解し、健康レベルと障害との関連や精神の不健康状態について把握する。
2. 精神看護の基本概念や精神医学の診断、治療を理解し、看護援助できる能力を養う。
  - A. 精神の発達や健康障害について、看護学とその関連領域の概念枠組みを用い理解する。
  - B. 精神の健康障害や、精神症状によって影響された患者の状態をアセスメントし、看護援助を計画、実施できる能力を身につける。
  - C. 精神の健康障害の診断と、その治療法についての知識をもち、看護援助が展開できる能力を身につける。
3. 精神障害者の人権を守り、地域生活を支えていくための援助方法についての理解を養う。
  - A. 精神医療看護の歴史を知り、精神障害者の人権尊重と精神保健医療看護を展開していく看護師の役割や倫理的配慮についての知識を獲得する。
  - B. 精神の健康上の問題を持つ人が、地域で生活していくために必要な援助とそれを支えるシステムについて理解する。

### 【履修条件】

「基礎看護学臨地実習Ⅰ・Ⅱ」、「精神保健看護学概論」「精神保健看護援助論」を修得していること

### 【授業計画】

実習 1日目～7日目 病院実習 ー受け持ち患者を通して看護を実践ー

実習 8・9日目 生活訓練施設、地域活動支援センター、就労移行・就労継続支援施設 体験実習

実習 10日 実習の振り返り、まとめ、面接評価

### 【教科書】

指定なし

### 【参考書】

1. 精神保健看護学で使用した配布資料
2. 武井麻子他編集（2014）精神看護学① 精神看護の基礎，医学書院
3. 武井麻子他編集（2014）精神看護学② 精神看護の展開，医学書院
4. 宮本眞巳編集（2014）援助技法としてのプロセスレコード，精神看護出版

### 【評価方法・評価基準】

実習目標への到達度による評価（80%）、課題レポート（20%）

### 【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：精神保健看護学概論、精神保健看護学援助論などの学びを振り返りまとめる。

事後学習：日々の実習終了後に各自の学びを振り返り記述する。実習全般での学びを振り返り課題レポートとして記述する。

### 【教育目標（必須要素）との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅲ. 根拠に基づいた看護実践能力、Ⅴ. 多職種から成り立つ医療チームにおけるコミュニケーションとコラボレーション能力、Ⅵ. ヘルスプロモーションと予防に関する知識と実践能力、Ⅸ. あらゆる対象に向けた包括的な看護実践能力と関連する。

### 【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

実習に関わる記録については4年次前期（4月中）に学生個人に返却する（掲示により連絡）

### 【備考】

精神保健看護学概論、精神保健看護援助論について理解を深めておくこと。